

14人が教壇に別れ

学生の指導に尽力し、研究に情熱を注いでこられ、今年度で教壇を去られる14人の先生方を紹介する。

※氏名、主な担当、主な役職名に続き在職年数を記載する。

定年退職

【経済学部】
原田博夫教授



「地方財政論」就職指導
委員会委員長、大学院経済学
研究科長 39年

宮本光晴教授



「企業経済学」 39年

【法学部】
小野新教授



「英米法」 38年

庄菊博教授



「物権法」大学院法学研究科
長、育友会主任教授
44年

【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



【人間科学部】
広田康生教授



「エリア・スタディ」
長 42年
「債権各論」法学研究所
「会社法概論」 8年

【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



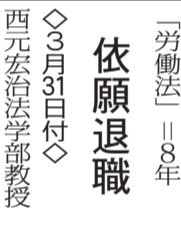
【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



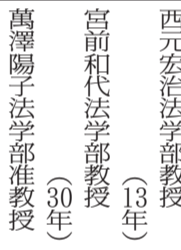
【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



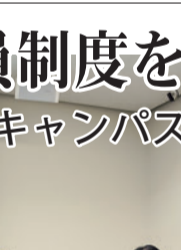
【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



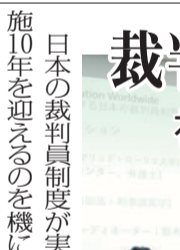
「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



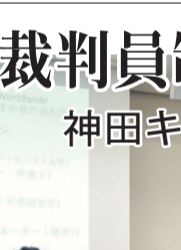
【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



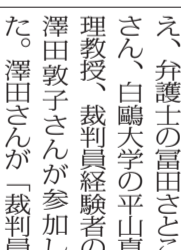
【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



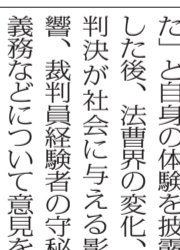
「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



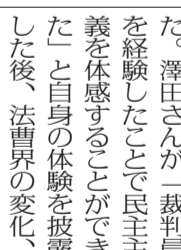
【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



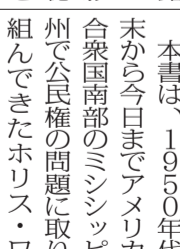
「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



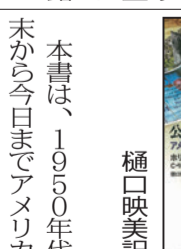
【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



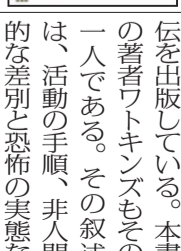
【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



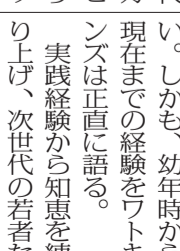
「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



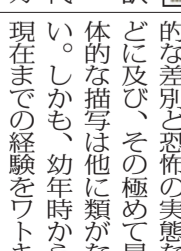
【経営学部】
田口冬樹教授
「流通論」経営研究所長
45年



【国際紛争論】 16年
宮城啓子教授



「刑事訴訟法」 17年
出口正義教授
「会社法概論」 8年



最終講義



出口正義法学部教授 11月7日



田口冬樹経営学部教授 11月10日



【労働法】 8年
依願退職

◇3月31日付◇
西元宏治法学部教授

宮前和代法学部教授

萬澤陽子法学部准教授

西口拓子経営学部教授

佐久間由梨経営学部准教授

古田徹也文学部准教授

野村亮ネットワーク情報学部教授

本田厚子ネットワーク情報学部准教授

西本万映子経営学部特任教授

岩崎貞明文学部特任教授

神山安弘文学部特任教授

佐藤厚ネットワーク情報学部特任教授

渡部健司ネットワーク情報学部特任教授

長谷川徹文学部助教

◇3月31日付◇

任期満了

※カッコ内は在職年数

裁判員制度を考察する 神田キャンパスでシンポ



日本の裁判員制度が実施10年を迎えるのを機に、国際的位置づけを探るシンポジウム「Law Participation Worldwide—世界の市民の司法参加における日本の裁判員制度」(専修大学法学研究所)が3月2日、神田キャンパスで開かれた。ウィルフレッド・ローリエ大学(カナダ)のニコライ・コバレフ准教授による講演と、裁判員経験者らに交えたパネルディスカッションが行われた。

飯孝行法学部教授が、シンポジウムを源流とする陪審制度の歴史や、日本の裁判員裁判の実施状況をおおむね円滑に運用されているなどの課題もあるが、国際的に遜色ない制度と言え、と話した。コバレフ准教授はロシア、カザフスタン、ジョージアの3カ国における市民の刑事司法への参加状況を開示した。

4月20日(土)には、関連書籍『あなたも明日は裁判員!』出版記念シンポジウムが、神田キャンパスで開催される。

専修人の新しい本

公民権の実践と知恵
—アメリカ黒人
草の根の魂



樋口映美訳

本書は、1950年代末から今日までアメリカ合衆国南部のミシシッピ州で公民権の問題に取り組んできたホリス・ワトキンスの自伝「Brother Hollis: The Sankofa of a Movement Man (2016年)の全訳である。

公民権運動と言え、指導者はキング牧師で、キング暗殺の頃には終わると思っている人が多く、そうした風潮にまど

と、生成モデルを用いる研究分野である計算論的精神医学への注目が世界的に集まっている。

計算論的精神医学
—情報処理過程から
読み解く精神障害



国里愛彦共著

現在の精神医学は、疾病分類が生物学的知見に基づいていない、生物学的知見と臨床症状の間に説明のギャップがあるといった問題を抱えている。これらの問題を克服するために、生物学的知見と臨床症状の架橋を目的

として、生成モデルを用いる研究分野である計算論的精神医学への注目が世界的に集まっている。